

Daito to Day

ブランドってなんだろ

道

Vol. 4



発行日	2018年7月16日	〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1
発行	大東文化大学学長室 po@ic.daito.ac.jp	
編集	学長室 http://www.daito.ac.jp/president_blog/	

「東洋人の"道"を育てる大学」というブランド確立の事業

7月4日の理事会にて、大学事業『漢学・書道の学際的研究拠点の形成による「東洋人の"道"」研究教育の推進』が承認され、平成30年度私立大学研究ブランディング事業として申請いたしました。

建学以来継承されてきた「漢学・書道」に関する知的資源を学際的に発展させ、東洋人の思想、すなわち「東洋人の"道"<ヒューマニティー>思想」に係る世界的なイノベーション研究拠点とする事業です。

研究成果を国内外に発信し、教育へと還元することで、本学の建学の精神に謳う「儒教に基づく道義」に根差した「東洋人の"道"を育てる大東文化大学」というブランドイメージの定着を目指します。100周年を迎えようとする本学の特色を発揮するにふさわしい事業として期待しています。

東洋人の"道"と社会情勢

現代社会は科学技術の発展により、高度で便利な生活を獲得してきた一方で、テロ行為、企業の不祥事、自死率の上昇、高ストレス社会など、伝統的な道徳観・倫理観の喪失や、これまで考えられなかった事態が不断に起きています。このような不確実性の時代を生き抜くには、思考力や判断力、多様性への理解を育むと共に、モラルの涵養が必要不可欠です。

1 本学の建学の精神は、「漢学(特に儒教)を中心として東洋の文化を教授研究することを通じて、その振興を図ると共に儒教に基づく道義の確立を期し、更に東洋の文化を基盤として西洋の文化を摂取吸収し、東西文化を融合して新しい文化の創造をめざす」ことにあります。さらに現在は「アジアから世界へ—多文化共生を目指す新しい価値の不断の創造」を大学の理念として掲げています。

この建学の精神と理念を背景に、これまで蓄積してきた「漢学・書道」に関する豊富な資源と研究を振興し、活用して、現代社会が直面する"道"<ヒューマニティー>と"人文主義"<ヒューマニズム>の諸問題に提言すること、これこそが本学の喫緊の課題であり使命であると考えています。

今、なぜ"道"なのか

今日、世界のあらゆる地域でさまざまな社会的な課題が吹き出してきました。しかし、従来の施策ではそれを打開できず、緊迫度はますます高まりつつあります。日本社会においても制度疲労ともいえる深刻な課題が山積みになっています。それをどのように解決すれば良いのか。世界中で模索が続いています。

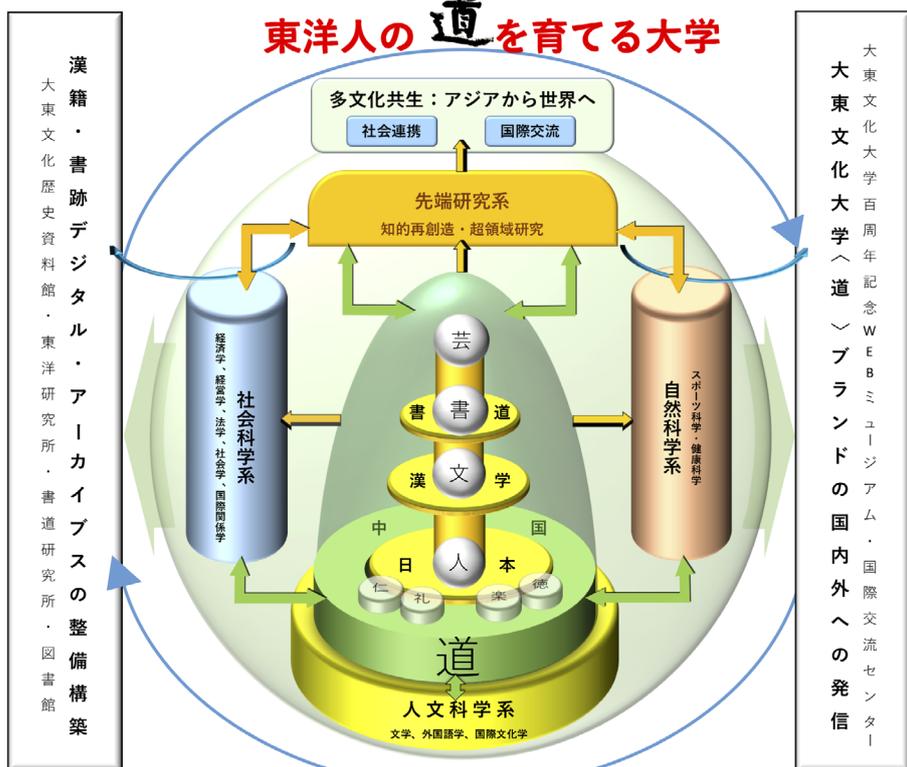
それを解くヒントは、東洋の「道」にあるのではないでしょうか。

近世になると、東洋にとっての西洋は技術や制度を有する学ぶ対象となり、一方、西洋は、異なる思考様式を有する文化としての東洋を「発見」しました。西洋の思考は全体を部分に分割して理解しようとするものですが、東洋の思考はそれに対して全体を全体として把握しようとするものです。現在、東洋的思考の再発見は世界的な傾向にあり、東洋の思惟が世界中の今日的な課題に対する新しい解決方法を提供しつつあります。

かつて孔子を徹底的に批判した中国においても、「道」を根底とする儒学思想を政治や経済の活動に活かそうとする動きが始まっています。

建学の精神に「儒教に基づく道義の確立を期し」「新しい文化の創造をめざす」と謳う本学は、現代社会の課題に対して有効な考え方を示すことによって世界に貢献することのできる大学なのです。

東洋人の"道"を育てる大学



※「道」字・本学元教授 今井凌雪書

大学と法人が一致結束して大学改革を！

門脇学長は、2018年6月30日に行われた学校法人大東文化学園の理事会及び評議員会において選出された中込秀樹新理事長と会談しました。さっそく大学改革に向けた課題を中込理事長と共有し、厳しさを増す私立大学の状況の中で本学がなお一層の発展を遂げるよう新段階に臨む大学改革への決意を交わしました。



伸びる Daito Education PLUS の芽

たくさんの若い力が育っています。読んで面白いと思った本をライブ感たっぷりに紹介してディスカッションを行うビブリオバトルが6月16日に東松山図書館で開催されました。



自衛消防訓練 より安全・安心なキャンパスへ

6月14日、板橋校舎で毎年恒例の自衛消防訓練（総合訓練）を行いました。6月18日に大阪府北部を中心とした震度6弱の大きな地震、また7月6日以降に西日本を襲った記録的豪雨「平成30年7月豪雨」は甚大な被害をもたらしました。被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。

「助けられる人から、助ける人へ」。災害が起こったら、まず、自分の身の安全を第一に考え、そのための行動をとること。そして、自分の身の安全が確保されたら、次には人を助ける。そのことを胸において行動してほしいと願っています。

安全・安心は学びの場としての大前提です。災害発生時の即応、避難場所確保と行動計画、緊急安否確認手段、東松山校舎での防災訓練など日常的に点検すべき事項は多くあります。



manaba 利用（基本編と応用編）9月説明会のお知らせ

学習管理システム manaba が全授業科目で利用できるようになりました。板橋校舎と東松山校舎とで開催した利用者説明会では約60人の参加者がありました。



東松山校舎 7122 教室 (32 名) 9月25日(火) 2限、3限、4限
板橋校舎 1-0302 教室 (20 名) 9月28日(金) 2限、3限、4限
今回は応用編を中心に実施します。詳細は、情報センターニュースや、DB ポータル、ノーツ、または学園総合情報センターまで直接お問い合わせください。



アスリート宣言と日本版 NCAA について

本学の学生たちの華々しい活躍に見られるように、本学は大学スポーツの一翼を担う責任と覚悟を持って大学スポーツの振興に取り組んできました。

本学は昨年6月19日に「大東文化大学アスリート宣言」を公表しました。現在まで2回の「部長・指導者会議」において「宣言」を各クラブで周知するように依頼し、本年3月31日の「新人アスリートセミナー」においても、本学に入学した新人アスリート全員で「宣言」を読み上げ、その「宣言」の趣旨や内容について確認しました。また、昨年度には外部講師を招き「スポーツに関するコンプライアンス研修」を実施しています。

本年3月30日に開催された「監督・指導者会議」では学長から次の「三つのお願い」をしました。

- ① 学業とスポーツの両立を第一に考えること
- ② 安全・安心な活動に心がけること
- ③ 不祥事を起こさないこと

今年度は、7月の「運動部指導者対象研修会」で「ハラスメント対応とガバナンス」、学生についても「主将・主務会議」で「コンプライアンス研修」を予定しています。

また、「日本版 NCAA」（スポーツ庁が主導する大学スポーツを一元管理する統括機関）への参加表明書を既に送ってあります。その設立準備委員会では、現在の大学スポーツのさまざまな問題を解決するために、特に①学業の充実、②安全安心、③マネジメントに関する検討を行っています。

本学の対応への皆さんのさらなる理解と各運動部へのますますの応援をよろしくお願いいたします。